

令和7年度第1回学校運営協議会 報告書

- 1 目的 道立学校の運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する機関として、保護者及び地域住民等が学校運営に参画し学校との連携を強めることにより、学校と保護者及び地域住民等が信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善並びに生徒の健全育成を図ることを目的とする。

2 日時 令和7年6月12日（木） 16:00～17:00

3 場所 北海道津別高等学校 多目的教室

- 4 出席者〈学校運営協議会委員 敬称略〉 〈学校・各部会担当者〉
- | | |
|---------------|---------|
| 上野真司(※1) (欠席) | 校長 島村真幸 |
| 河本純吾(※1) | 教頭 山崎辰也 |
| 立川彰(※1) (欠席) | 教諭 小堀健介 |
| 笠川早苗(※1) | 平子裕 |
| 長瀬加寿哉(※2) | |
| 佐藤久哉(※3) | |
| 谷口正樹(※4) | |
| 迫田久(※4) (欠席) | |
| 三村文弥(※6) (欠席) | |
| 森本邦紀(※6) | |
- 注) (※1) 地域住民
(※2) 生徒の保護者
(※3) 運営に資する活動を行う者
(※4) 行政機関の職員
(※6) 学識経験者

5 議事

- (1) 辞令交付
- (2) 校長挨拶
- (3) 令和7年学校運営方針について
- (4) 令和7年度学校概要について
- (5) 令和7年度における個別具体の取組について
- (6) 意見交換
- (7) その他



6 熟議内容

【中学校訪問に際して】

- ・中学生に配布する「津別高校の教育活動の概要」の内容が固いので、中学生の興味を引くことのできる柔らかいチラシ風にした方がよい。
- ・今の中学生は打算的なので、チラシの内容も推薦や総合型選抜を使って進学に有利であること、お金がかからないこと、字ばかりでなく写真を載せるといった工夫を行った方がよい。

【地元中学生の進学率向上に向けて】

- ・小中高の連携を進め、特に中学生と高校生の関わりを増やして、1学年上のあの先輩も津別高校に行ったから私も津別高校へ行くという関係性を構築する。
- ・オピニオンリーダーの生徒が津別高校を選択することで、他の生徒も行くという流れができる。
- ・「学び直し」というのは大切な試みではあるが、外から見ると質・全体のイメージが低く見えてしまう。
- ・DX化の進展により、今の中学生は近隣高校の情報をけっこう知っている。逆に近くにいる津別高校生の活躍している姿を中学生に見せ、リアルさで対抗してもらえれば。
- ・中学生と高校生の関わりを作り、活躍を見せるのに、中高でボランティアや体育祭のような行事を一緒にやるというのも一つ。
- ・昨年のふるさとまつりへの神輿渡御の参加や、今年のつべつ夏祭りへの協力というのは地域と高校のつながりが増え、小学生、中学生に高校生の活躍している姿を見せるという点でも良い試みである。